

# 戦争展 2023

## 戦争そ刃過ちを繰り返さない ～防衛の島 友ヶ島～

●南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味を失なへていろ  
みんなに原爆がかけられている



8回におよぶ「大阪大空襲」の内、最も多くの犠牲者を出したのが1945年3月13日から14日にかけての第1回大阪大空襲です。そのため、私たち大阪教区教化委員会では戦争展を毎年3月の時期に開催しています。

◆友ヶ島 第三砲台跡

2022年2月24日、ロシアによるウクライナ侵攻が開始されました。連日ニュースでミサイルや空爆によって破壊された市街地の映像を目になると、改めて戦争の悲惨さ、また戦争のない世界を実現することの難しさを強く感じます。世界情勢が緊迫する中、日本でも防衛のために軍事力を強化すべきという声が日に日に高まっていますが、軍事力には軍事力で対抗するという考え方非常に危ういものを感じます。他者を傷つけ、その命を奪う軍事力で私たちの安全、そして未来は守れるのか。

今回フィールドワークで訪れた友ヶ島は、戦時中軍事要塞として大阪湾防衛の役目を担っていました。実際にはこの島は戦地になっていませんが、当時要塞として使用された何とも言えない儚い姿が残されています。

私たちは、戦争という同じ過ちを繰り返さないよう、未来に向けて歩んで行かなければなりません。

2023年  
3/11(土)～4/9(日)

9:00～17:30

会場

真宗大谷派 難波別院（南御堂）  
御堂会館1階エントランス

主催 真宗大谷派 大阪教区教化委員会 戦争展実行委員会

映画上映

『沖縄スパイ戦史』

3月16日17時より  
難波別院 同朋会館講堂

戦後70年以上語られなかつた  
陸軍中野学校の「秘密戦」、  
明らかになるのは過去の沖縄戦の  
全貌だけではない。

第二次世界大戦末期、米軍が上陸し、民間人を含む20万人余りが死亡した沖縄戦。第32軍・牛島満司令官が自決する1945年6月23日までが「表の戦争」なら、北部ではゲリラ戦やスパイ戦など「裏の戦争」が続いた。作戦に動員され、銃を持ち故郷の山に籠つて米兵たちを翻弄したのは、まだ10代半ばの少年たち。彼らを「護郷隊」として組織し、「秘密戦」のスキルを仕込んだのが日本軍の特務機関、あの「陸軍中野学校」出身のエリート青年将校たちだった。

1944年の晩夏、42名の「陸軍中野学校」出身者が沖縄に渡った。ある者は偽名を使い、学校の教員として離島に配置された。身分を隠し、沖縄の各地に潜伏していた彼らの真の狙いとは、そして彼らがもたらした惨劇とは……。

「散れ」と囁くソメイヨシノ

「生きろ」と叫ぶカンヒザクラ

killed spy  
position /  
able

長期かつ緻密な取材で本作を作り上げたのは、二人のジャーナリスト。映画「標的の村」「戦場ぬ止み」「標的の島 風かたか」で現代の闇を描き続ける三上智恵と、学生時代から八重山諸島の戦争被害の取材を続けてきた若き俊英 大矢英代。

少年ゲリラ兵、軍令による強制移住とマリア地獄、やがて始まるスパイ虐殺……。戦後70年以上語らることのなかった「秘密戦」の数々が一本の線で繋がるとき、明らかになるのは過去の沖縄戦の全貌だけではない。

映画は、まさに今、南西諸島で進められている自衛隊増強とミサイル基地配備、さらに日本軍の残滓を孕んだままの「自衛隊法」や「野外令」「特定秘密保護法」の危険性へと深く斬り込んでいく。

涙目しました!  
僕ら日本人は、あの日本の戦争に就いて、  
未だ何も知らない、知られていない、知らぬ事は罪。  
これは日本人、否世界の人間共にとって、必見の一作!!  
立派な作業に、頭を垂れます。目醒めよ!

大林宣彦 映画作家

あの戦争は、地続きだった。沖縄と、本土と、過去と、今と、それを断絶しているのは意図的に作られた壁か、それとも無関心という薄なのか。  
背を向ければ、再び地獄は忍び寄る。  
生き抜いた人々の声は、私たちへの誓讐そのものだった。

安田菜津紀 フォトジャーナリスト

@spysenshi fb.com/spy.senshi www.spysenshi.com

# 沖縄 スパイ 戦史

「もう、忘れないよ。  
わたしがここで、覚えてるから」

大矢英代

「テロリストは僕だらうた」

三上智恵

「標的の村」「標的の島 風かたか」

監督:三上智恵、大矢英代  
プロデューサー:橋本佳子、木下繁賀  
撮影:平田 守 編集:鈴尾啓太 監督補:比嘉真人 音楽:勝井祐二  
協力:琉球新報社、沖縄タイムス社  
製作協力:沖縄記録映画製作を応援する会  
製作:DOCUMENTARY JAPAN、東風、三上智恵、大矢英代  
配給:東風  
2018/日本/DCE/114分/ドキュメンタリー

ふたりのジャーナリストが迫った沖縄戦の最も深い闇。

少年ゲリラ兵、戦争マラリア、スパイ虐殺……

そして、ついに明かされる陸軍中野学校の「秘密戦」とは?

www.spysenshi.com

日時 2023年3月16日(木) 17時 Start 入場 Free

会場 難波別院(南御堂) 同朋会館講堂

主催 大阪教区教化委員会 戦争展実行委員会